

## 小学校 ICT 活用授業 児童のプレゼンカコンテスト

学校 (団体)	フリガナ オオサカ		フリガナ ヤダヒガシ ショウガッコウ	
	大阪	都 道 府 県 区 組 私	国 都 道 府 県 市 立	矢田東
指導 教員名	姓	名	担当学年、クラス名	
	フリガナ タハラ	ケンノスケ	3 年 1 組	
田原		健之助		
協力指導教員名（フルネーム） <small>複数名の場合は改行して記載ください</small>	姓		名	
	フリガナ ツボニワ・ヤマギシ		リナ・フミヤ	
	坪庭 山岸		里奈 史弥	

<b>単元タイトル 将来の夢を紹介しよう！</b>					
<b>単元のねらい</b> <p>プレゼンを作成する際は、将来の自分自身の姿を想像し、インターネットや図書館の本、インタビューなどで得た情報から、友達に伝えるために必要な情報を選び、どのようにしたら伝わりやすいのかを考えて作成する。また、自分になりたい職業について調べることで、どのようにしたらその職業につけるのか、そのためにはどのような努力が必要なのかを知る。友だちのプレゼン発表を聞き、交流することで、伝わりやすいプレゼンにはどのような工夫があるのかに気付く。</p>					
<b>児童のプレゼンカやコミュニケーション力を育成するために工夫した点</b> <p>ピッケのソフト操作方法を指導したうえで、ワークシートを作成し、プレゼンの設計図を作成させた。情報を伝える際に、文字にした方が伝わりやすいか、言葉で説明した方がいいのかを考えたり、写真の大きさ、文字の色などの構図を工夫したりすることを考え、発表・交流することを念頭に作成させた。また、社会見学をまとめたり、国語の感想文を作成したりして、発表・交流することで、プレゼンのスキルアップをはかった。</p>					
<b>ICT 活用とその工夫した点</b> <p>発表する際に、電子黒板ではなく、プロジェクターとスクリーンで発表することで、教室が暗くなるので、緊張感の緩和に効果的であった。いろいろな単元でプレゼンを作成する際にソフトの操作だけでなく、文字の色や、写真の編集など、プレゼンのスキルアップにつながることにしても段階をおって、計画的に指導することができた。</p>					
<b>ICT 環境 (PC, ネットワーク、コンテンツ、周辺機器)</b> <p>タブレットPC・パソコン・プロジェクター・書画カメラ・デジカメ・ビデオ</p>					
教科単元	国語：「食べ物のひみつを教えます」 総合的な学習	対象学年	3 年	総時間	15 時間

単元計画（単元の流れと実践の内容を記入してください。）				
導入 授業時間 （ 1～2 ）	学習内容			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分が将来になりたい職業を決め、インターネットや図書館の本などを活用し、調べ学習を行う。</li> <li>○ ワークシートを使って、プレゼンの構図を考える。</li> <li>○ タブレットP Cの操作方法や、ピッケの機能を学習し、教師のデモプレゼンを参考にして、実際に簡単なプレゼンを作成する。</li> </ul>			
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="width: 20%;">使用した ICT 機材</th> <th>活用のねらい・工夫</th> </tr> <tr> <td>タブレットP C P C プロジェクター 書画カメラ</td> <td>プレゼンのイメージをつかみやすくするために、教師がデモのプレゼンを作成した。タブレットP Cの画面が、プロジェクターには映らなかったため、書画カメラを用いて説明した。</td> </tr> </table>	使用した ICT 機材	活用のねらい・工夫	タブレットP C P C プロジェクター 書画カメラ
使用した ICT 機材	活用のねらい・工夫			
タブレットP C P C プロジェクター 書画カメラ	プレゼンのイメージをつかみやすくするために、教師がデモのプレゼンを作成した。タブレットP Cの画面が、プロジェクターには映らなかったため、書画カメラを用いて説明した。			
展開 授業時間 （ 3～7 ）	学習内容			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ワークシートを基に、プレゼンを作成する。</li> <li>○ 発表会で発表・交流することを念頭に、聞き手に伝わりやすい工夫をする。 (文字の大きさや色、使用する資料や写真等)</li> </ul>			
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="width: 20%;">使用した ICT 機材</th> <th>活用のねらい・工夫</th> </tr> <tr> <td>タブレットP C P C プロジェクター 書画カメラ</td> <td>ワークシートを使用したことで、プレゼンの完成がイメージしやすく、製作に多くの時間をかけることはなかった。 写真の貼り付け方や、文字の色等、工夫がみられる児童の作品を、書画カメラを用いて紹介することで、全体的なプレゼン力の向上につながった。</td> </tr> </table>	使用した ICT 機材	活用のねらい・工夫	タブレットP C P C プロジェクター 書画カメラ
使用した ICT 機材	活用のねらい・工夫			
タブレットP C P C プロジェクター 書画カメラ	ワークシートを使用したことで、プレゼンの完成がイメージしやすく、製作に多くの時間をかけることはなかった。 写真の貼り付け方や、文字の色等、工夫がみられる児童の作品を、書画カメラを用いて紹介することで、全体的なプレゼン力の向上につながった。			
まとめ 授業時間 （ 8～10 ）	学習内容			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 作成したプレゼンを発表する。</li> <li>○ 友だちのプレゼンを聞いて、良かった点、わかりやすかった点を出し合い、交流する。</li> </ul>			
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="width: 20%;">使用した ICT 機材</th> <th>活用のねらい・工夫</th> </tr> <tr> <td>タブレットP C P C プロジェクター 書画カメラ</td> <td>プレゼン発表の際、電子黒板やパソコン室を使用するのではなく、プロジェクターを使用することで、教室をうす暗くするため、緊張感の緩和になった。 児童一人一人が興味を持ち活動していたことから、友だちの発表にも真剣に耳を傾け、良い点を探すことができた。</td> </tr> </table>	使用した ICT 機材	活用のねらい・工夫	タブレットP C P C プロジェクター 書画カメラ
使用した ICT 機材	活用のねらい・工夫			
タブレットP C P C プロジェクター 書画カメラ	プレゼン発表の際、電子黒板やパソコン室を使用するのではなく、プロジェクターを使用することで、教室をうす暗くするため、緊張感の緩和になった。 児童一人一人が興味を持ち活動していたことから、友だちの発表にも真剣に耳を傾け、良い点を探すことができた。			
ふりかえり 授業時間 （ 11 ）	学習内容			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 友だちのプレゼンから、良かった点をまとめ、自分の作品にいかしてみる。</li> </ul>			
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="width: 20%;">使用した ICT 機材</th> <th>活用のねらい・工夫</th> </tr> <tr> <td>タブレットP C P C プロジェクター 書画カメラ</td> <td>友だちの作品から、良かった点、真似したい点をまとめ、自分の作品を手直ししてみることで、どのように効果的だったのかの確認ができた。</td> </tr> </table>	使用した ICT 機材	活用のねらい・工夫	タブレットP C P C プロジェクター 書画カメラ
使用した ICT 機材	活用のねらい・工夫			
タブレットP C P C プロジェクター 書画カメラ	友だちの作品から、良かった点、真似したい点をまとめ、自分の作品を手直ししてみることで、どのように効果的だったのかの確認ができた。			

指導計画

時数	活動内容	指導者の留意点
1	○ 自分が将来なりたい職業を決め、インターネットや図書館の本などを活用し、調べ学習を行う。	○ 自分の将来の夢について考えさせ、具体的にどのような職業なのか、どのようにしてその職につくのかを調べさせる。 ○ 調べやすいホームページを紹介する。
2 3	○ ワークシートを使って、プレゼンの構図を考える。 ○ タブレットPCの操作方法や、ピクチャの機能を学習し、教師のデモプレゼンを参考にして、実際に簡単なプレゼンを作成する。	○ 指導者が見本のプレゼンを作成し、相手に伝わりやすいプレゼンには、どのような工夫が必要かを学年で考える。 ○ まずは、ワークシートに書き出し、プレゼン全体をイメージさせる。
4 5 6	○ ワークシートを基に、プレゼンを作成する。 ○ 発表会で発表・交流することを念頭に、聞き手に伝わりやすい工夫をする。 (文字の大きさや色、使用する資料や写真等)	○ 工夫がみられる児童のページを紹介し、スキルアップを図ることで、より工夫されたプレゼンが作成できるようにする。 ○ ホームページや図書の資料などを、児童が使えるようにスキャナで取り込んだり、USBメモリに入れたりする。
7 8	○ リハーサル	○ 「将来の夢発表会」のリハーサルをする。その際、聞き手に伝わりやすくするには、プレゼンの内容だけでなく、声の大きさや、話すスピード、指し棒を使用するなどの注意点を学習する。
9 10	○ 作成したプレゼンを発表する。	○ 「将来の夢発表会」を開き、友だちに発表する。発表が終わったら、ワークシートによかった点、伝わりやすかったところを記入し、交流することで、共通理解をはかる。
11	○ 発表会で学習したことをもとに、自分のプレゼンを見直し、修正する。	○ 友だちの作品を見て、自分の作品で工夫できる点を改善することで、復習とする。